



## 本年度をふり返って

国際交流・協力センター

釧路校センター長 酒井多加志

北海道教育大学国際交流・協力センターは、学術・教育を通じて国際平和の実現に貢献すること、学生、教職員の国際感覚を涵養し、本センター事業を通じて国際交流・協力を積極的に貢献できる人材を育成することを目的に設置された組織である。そして、以下の4点、(1)学部学生、大学院生の国際感覚を涵養するため、学生の派遣及び留学生の受入を推進する、(2)諸外国の大学及び研究機関との交流・連携を活性化し、教育・研究の国際化を推進する、(3)JICA、JICE等との連携を強め、国際協力を積極的に寄与し、学生教育に還元する、を活動目標としている。

釧路校センターはこれまで上記の目標達成のため、各種取り組みを行ってきたが、2022年度は前年度に引き続き猛威を振るった新型コロナウイルスの感染拡大により、留学生受け入れ・派遣をはじめとする各種事業は順調に進んでいない。しかし、海外渡航の制約のある中、2022年度は派遣交換留学生としてオーストラリアへ2名（シドニー工科大学、派遣期間は1年、6ヵ月）、海外教育体験プログラム参加者としてカナダへ2名（カルガリー大学、派遣期間5週間）を派遣することができた。その他、インターンプログラムでアメリカ合衆国へ2名（渡航期間1年）、カナダへ1名（渡航期間6ヵ月）が渡航した。なお、上記の渡航学生全員に本校の国際交流事業資金から規定に基づいた金額が給付されている。

留学生受入に関しては、10月から中国から留学生（研究生）1名を受け入れることになった。ただし、入国手続きに時間を要したため、入国可能になるまでオンラインで授業を実施した（11月26日に入国し、11月27日に釧路校に到着）。釧路校到着後、レジデンスチューター1名を配置している。

例年6月に実施している“インターナショナルナイト2022夏”に関しては、JICAや交換留学生の受け入れがなかったことから実施していない。冬のインタ

ーナショナルナイトは交換留学生の入国が遅れたため、実施していない。また、JICAの交流事業も新型コロナウイルスの感染拡大により、実施を見送った。

釧路校の国際交流事業のうち、留学生受入に関しては新型コロナウイルス感染拡大以前から活発ではない。釧路校単独で海外の大学と協定を結んでいた頃はそれなりの実績があったが、北海道教育大学として協定が結ばれるようになってからは釧路校の留学生数は激減している。全学の国際交流・協力センター会議において、受入プログラムの見直しについての意見が求められているが、本校は教員養成を目的としているので、留学生の多くが求める教育とは関係のない分野のプログラムを構築することは困難である。教育以外のプログラムに関しては個々の教員、あるいは分野に頼っているのが現状である。

政府は2023年5月8日より新型コロナウイルスの感染法上の分類を季節性インフルエンザと同じ「5類」に引き下げることを選定した。これに伴い、2023年度の国際交流は活発化することが期待される。ただし、新型コロナウイルス感染は終息したわけではない。国際交流は引き続き慎重さが求められる。

## 【令和4年度 国際交流事業資金収支状況】

《令和4年度末現在残額》

(単位：円)

前年度繰越額	収入額	支出額	残 額
14,897,864	300,000	470,000	14,727,864

《令和3年度予算収支》

(単位：円)

予 算 額	支 出 額	差引増△減額	備 考
2,000,000	470,000	1,530,000	

《収支内容》

※令和5年3月20日現在（見込み含む）(単位：円)

収 入		支 出		
寄付（後援会）	300,000			
		4月	海外でボランティア・語学研修等に参加する学生に対する助成金（小林）	10,000
			海外でボランティア・語学研修等に参加する学生に対する助成金（松村）	10,000
		5月	海外でボランティア・語学研修等に参加する学生に対する助成金（小林）	10,000
			海外でボランティア・語学研修等に参加する学生に対する助成金（松村）	10,000
		6月	海外でボランティア・語学研修等に参加する学生に対する助成金（小林）	10,000
			海外でボランティア・語学研修等に参加する学生に対する助成金（松村）	10,000
		7月	海外でボランティア・語学研修等に参加する学生に対する助成金（小林）	10,000
			海外でボランティア・語学研修等に参加する学生に対する助成金（松村）	10,000
			留学のために必要な語学力試験を受ける学生に対する助成金（舟木）	10,000
		8月	海外でボランティア・語学研修等に参加する学生に対する助成金（小林）	10,000
			海外でボランティア・語学研修等に参加する学生に対する助成金（松村）	10,000
			海外でボランティア・語学研修等に参加する学生に対する助成金（葛西）	10,000
		9月	海外でボランティア・語学研修等に参加する学生に対する助成金（小林）	10,000
			海外でボランティア・語学研修等に参加する学生に対する助成金（松村）	10,000
			海外でボランティア・語学研修等に参加する学生に対する助成金（葛西）	10,000
		10月	海外でボランティア・語学研修等に参加する学生に対する助成金（小林）	10,000
			海外でボランティア・語学研修等に参加する学生に対する助成金（松村）	10,000
			海外でボランティア・語学研修等に参加する学生に対する助成金（葛西）	10,000
		11月	海外でボランティア・語学研修等に参加する学生に対する助成金（小林）	10,000
			海外でボランティア・語学研修等に参加する学生に対する助成金（松村）	10,000
			海外でボランティア・語学研修等に参加する学生に対する助成金（葛西）	10,000
			留学のために必要な語学力試験を受ける学生に対する助成金（東）	10,000
			留学のために必要な語学力試験を受ける学生に対する助成金（東）	10,000
		12月	海外でボランティア・語学研修等に参加する学生に対する助成金（小林）	10,000
			海外でボランティア・語学研修等に参加する学生に対する助成金（松村）	10,000
			海外でボランティア・語学研修等に参加する学生に対する助成金（葛西）	10,000

	1月	海外でボランティア・語学研修等に参加する学生に対する助成金（小林）	10,000
		海外でボランティア・語学研修等に参加する学生に対する助成金（松村）	10,000
		海外でボランティア・語学研修等に参加する学生に対する助成金（葛西）	10,000
	2月	海外に留学する学生に対する助成金（小林）	30,000
		海外に留学する学生に対する助成金（東）	30,000
		海外に留学する学生に対する助成金（苅込）	30,000
		海外に留学する学生に対する助成金（麻原）	30,000
	3月	海外に留学する学生に対する助成金（小林）	30,000
		海外に留学する学生に対する助成金（東）	30,000
合 計	300,000		470,000

平成31年4月まで、留学準備のために必要なTOEICやTOEFLなどの語学力試験受験に対して、後援会費で助成を行ってきたのですが、令和元年5月申請分より国際交流事業資金から助成するよう、基準の改正を行っております。

これに伴い、例年後援会費で「語学力試験の助成」用として確保してきた予算を国際交流資金に寄付という形で組み込むこととしました。

これにより、本資金の収入を確保し、少しでも長く支援を可能にしていきたいと考えております。

### 【令和5年度 国際交流事業資金予算額】

《事業資金》

(単位：円)

令和5年度予算額	令和4年度予算額	差引増△減額	備 考
2,000,000	2,000,000	0	

### 【令和4年度 外国人留学生名簿】

No.	氏 名	性別	国籍	在籍身分	留学区分	受入期間
1	チン シン 陳 真	男	中国	研究生	私費	R04.10～R05.03

### 【令和4年度 派遣交換留学生名簿】

No.	氏 名	性別	留学先	在籍身分	留学区分	派遣期間
1	フナキ ショウタ 舟木 章太	男	オーストラリア	留学	派遣	R05.02～R05.07
2	アズマ イオ 東 衣緒	女	オーストラリア	留学	派遣	R05.02～R05.12

## 【編集後記】

国際交流ニューズレター第23号をご覧くださいありがとうございました。

今年度も昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の流行に係り、例年行っている国際交流イベントなどについてはやむなく中止となりました。

そのため、今年度のニューズレターにつきましても、国際交流・協力センター釧路校センター長による1年間の振り返り及び国際交流事業資金収支状況の報告のみとさせていただきます。

来年度は、今年度末から派遣交換留学生として派遣された学生や海外教育体験プログラムに参加した学生などからの報告を行う予定です。

また、今後新型コロナウイルス感染症の位置づけが感染症法上で5類に引き下げられるのを受け、本学の対応方針や危機対策室と検討を行いつつ、例年行っていた国際交流イベントを再開し、再び活発な国際交流・協力事業が行えるよう、取り組んで参りたいと思います。

国際交流ニューズレター HUEIC-KC NEWS LETTER 第23号 (令和5年3月)

北海道教育大学国際交流・協力センター釧路校センター運営委員会 発行

〒085-8580 北海道釧路市城山1丁目15-55